

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間: 2024年12月
結果公表日: 2025年3月27日

回答率

事業所職員: 4名回答、回答率 100%
保護者様: 22名回答、回答率 84.6%

職員の意見

○環境・体制整備

環境については、状況に応じて職員がサポートしているが、段差が多く足が悪い利用者にとっては特に怪我のリスクが高い。課題と余暇のスペースが一緒になっており、課題に取り組む利用者が集中できないこともあるため、改善が必要である。

体制については、法令上の人員基準は満たしているものの、主に送迎の時間帯において教室内の職員数が限られてしまうことによって、安全管理の目が行き届きにくいことや業務負担の偏りがあるため、職員配置や職員が定着するための工夫の検討、業務分担の見直す必要がある。

○業務改善

業務に関して疑問や問題が出た場合は、職員間で適宜話し合っているものの、限られた職員での話し合いになる場合が多い。そのため、日々のMTGや面談を行い、全職員の意見が反映できる場面を設定する必要がある。また、全体の場で意見を伝えられない場合は、個別で話しを聞く機会を積極的に設けていく。

ガイドラインアンケート等の保護者からの意見は、今後も送迎時や面談時に真摯に話を聞いて改善に努めていく。

○適切な支援の提供

毎月テーマに沿って集団療育の内容を組み立て、利用者様の状況に合わせた集団療育の提供を行っている。就労支援に関してもより実践に向けた支援をしている。卒業後の自立に向けて、公共機関を用いた課外活動や、近場に飲み物を購入する活動等、金銭のやりとりをメインにした活動を長期休みや祝日に積極的に取り入れることができている。

○関係機関や保護者との連携

必要に応じて連携を行っているが、関係機関においては送迎時や電話での対応になるため、より詳細のやり取りは行えていない。保護者様とは送迎時や個別支援計画での面談の他に、相談事があった際にも電話や対面で話を聞く等、連携を図っている。

○保護者への説明責任等

契約時は重要事項を説明し、個人情報の使用同意をいただいた上で契約をしている。また毎月ニュースレターにて活動予定をお伝えしている。

○非常時等の対応

毎月実践に近い形での避難訓練を行っている。食物アレルギーがある利用者様のために、アレルギーが出てしまった場合の対応を逐一職員間で確認している。おやつを提供に関しても、アレルギーを除去したものを提供している。虐待防止の教室研修も行い、虐待防止に努めている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

環境については、「子供に寄り添う姿勢や家庭にも配慮頂いているため、とても感謝している」、「職員の専門性あるアドバイスをいただいている」などの意見をいただいた。

体制整備については、「職員の配置数は不足しているように感じる」、「職員の入れ替わりが激しいのが気になる」、「人が少ないので既存スタッフの負担が大きいと思う」の意見をいただいた。今後も、職員一同保護者様の安心できる環境・体制整備に取り組んでいく。

○適切な支援の提供

「難聴なので通常のコミュニケーションが難しい中、筆談など用いて工夫してくれている。」、「強度行動障害についての理解、臨機応変なご対応にいつも感謝している。」などのたくさんのご意見をいただいた。一方で、「支援計画が以前よりさらに細かく立てられていて保護者としてはありがたい。がスタッフさんの更なる負担になることでそれで過労働になってしまわないかが心配。」とのご意見もいただいた。今後も、利用者の特性に合わせた支援を提供していく。

○保護者への説明等

「一日のあったことを報告してくれるので感謝している。」、「いつも迅速丁寧に対応いただき感謝しています。」といったご意見をいただいた。今後も、送迎時はもちろんメールなどで些細なことでも利用者様、保護者様に真摯に対応していく。

○非常時等の対応

「色々な形式での避難訓練は中々家庭では出来ないのを助かります。」、「避難訓練をよくやってもらってます。」とご意見をいただいた。今後も、毎月の避難訓練のバリエーションやアプローチ方法を変えて対応していく。

○満足度

8割～9割のご家庭にご満足いただいている。保護者様からは、「スタッフさんがきめ細かく見てくださるので子供が安心して通えます。」などの意見をいただいた。一方で、「事業所のみなさんにとっても良くして頂き大変満足しています。が、スタッフ不足？オーバーワーク？と心配になる事が度々有ります。しっかりと休める環境があつてこそ、子供達の安心安全に繋がると思っています。」との意見もいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・保護者会、療育参観については定期的に開催できるよう長期休みなどで事前に検討する。
- ・課外活動は長期休みだけでなく祝日等でも取り組める内容を検討し、保護者様からの要望にもお答えできる活動を取り入れていく。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・療育参観は夏休み、保護者会は2月の祝日に開催することができた。今後も療育参観を積極的に行い、保護者会は2月ではなく、年度初めの方に行っていけると良い。
- ・長期休みだけでなく祝日にアレルギー対応した飲み物の購入活動や、様々な場所に課外活動に行くことができた。今後も、保護者様の要望に合わせて活動を取り入れていく。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・些細なことでも保護者様にお伝えすることで、利用者様が安心して通所できるように努めている。
- ・保護者様の要望を聞き、積極的に取り入れることでより自立に向けた活動の提供ができる。
- ・利用者様のことをよく見ているスタッフが多いため、変化に気が付きやすい。
- ・実践的な就労にむけた療育内容を立案して行っている。
- ・学校からの共有等、スタッフ同士で共有できているため、誰でも対応に入れる。
- ・様々な内容の避難訓練を月に一度行うことで、イレギュラー時の対応ができるようにしている。

○改善点

- ・保護者会や療育参観の開催は行えているが、参加できない保護者様も多かったため、開催の回数を増やす等、多くの方が参加できるよう、開催の仕方を検討する。
- ・同じような内容の活動が多いため、バリエーションを持たせていく。
- ・ブログの更新ができていないため、定期的に更新をし、教室での取り組みを発信する。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・活動が固定化されないように、他教室の活動内容や実際の作業所の作業内容を確認し、取り入れていく。
- ・多くの保護者様が参加できるような日程で、保護者会や療育参観を設ける。
- ・アレルギー除去の調理活動や金銭のやりとりを含んだ課外活動を積極的に取り入れていく。
- ・利用者様の教室での様子が分かるように、ブログ更新や保護者対応で積極的に伝えていく。

○1年間で取り組む具体策

- ・近隣の作業所等について調べ、アポイントを取って実際に足を運んで見学する等して、どんな作業を行っているか確認し、集団療育の中に組み込む。
- ・保護者会や療育参観の開催日時について、アンケートを取る等して参加率が上がるようにする。
- ・ブログを定期的に更新し、教室での様子を発信する。
- ・利用者様のニーズに合わせた調理活動や課外活動を増やす。